

SSS035-P04

会場:コンベンションホール

時間:5月25日 14:00-16:30

ミンダナオ島(フィリピン)におけるGPS地殻変動連続観測(序報) GPS continuous observation in Mindanao, the Philippines (preliminary report)

今給黎 哲郎^{1*}, 塩谷 俊治¹, 木股 文昭², テレシト バコルコル³

Tetsuro Imakiire^{1*}, ENYA Toshiharu¹, Fumiaki Kimata², Teresito C. Bacolcol³

¹ 国土地理院, ² 名古屋大学, ³ フィリピン火山地震研究所

¹Geospatial Information Authority, ²Nagoya University, ³Philippine Inst. of Volcanology & Seism

JST-JICA 連携事業「地球規模課題国際科学技術協力」の一環として、「フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進」(日本側代表機関・防災科学技術研究所)が2009年度から始まり、国土地理院もコンポーネント2の「地震発生ポテンシャル評価」(サブプロジェクトリーダー・名古屋大学・木股文昭教授)に加わった。国土地理院では、2010年12月に地殻変動観測のためのGPS連続観測点を現地カウンターパート機関PHIVOLCS(フィリピン地震火山研究所)と共同でミンダナオ島北東部に2点設置し、この地域の地殻変動観測を開始した。今回の観測点展開の目的は、GPS地殻変動観測から得られる歪速度に基づき、フィリピン海溝から沈み込むプレートにおけるプレート間固着の時間的な揺らぎを推定することである。また、名古屋大学他がミンダナオ島区間におけるフィリピン断層における歪み分布とフィリピン海プレートのプレート間固着を推定するために実施するGPSキャンペーン観測に今回の観測点も含まれる予定である。今回は、観測点設置の状況を紹介し、2010年12月以降のデータの予備的な解析結果も報告する予定である。

キーワード: GPS, 連続観測, 地殻変動, プレート間固着, フィリピン海溝

Keywords: GPS, Continuous Observation, Crustal Deformation, Plate Coupling, Philippine Trench